



なぞって練習

これを世帯の学問に暗
き男と言ふべし。経書
・史類の奥義には達し
たれども商売の法を心
得て正しく取引きを
なすこと能わざる者は、
これを帳合いの学問に
拙き人と言ふべし。
数年の辛苦を嘗め、
数百の執行金を費やし
て洋学は成業したれど
も、なおも一個私立
の活計をなし得ざる者
は、時勢の学問に疎き
人なり。これらの人物
はただこれを文字の問
屋と言ふべきのみ。

■ふりがな（青空文庫のふりがなより）

- ・経書【けいしょ】
- ・疎き【うとき】
- ・能わざる【あたわざる】
- ・拙き【つたなき】
- ・執行金【しゅぎようきん】